

アトリエ 琉游舎 だより 1号

- 5時半から21時までオープンしています。
- 自由にお入りください。誰もいなくても構いません。散歩の途中で一休みしたくなったり本が読みたくなったり、家と違うところでくつろぎたくなったり、誰かと話をしたくなったり理由は何でも大丈夫、みんなのためのフリースペースです。
- 暖かいお茶、冷たいお茶、紅茶、コーヒー。お菓子などおいてあります。セルフサービスですがご自由にどうぞ。外のウッドデッキで鳥のさえずりを聞き、さわやかな風にあたりながらのティータイム。ワンちゃんも一息入れてください。
- いろいろな本があります。ミニ図書館です。幼児向けの本から小学生までの児童本、最近のベストセラー小説から日本や世界の文学、詩の本や参考書専門書に文庫本、雑多なジャンルの本があります。中で読んでも、借りて家で読んでもOKです。本を読む習慣をつけるとひょっとしたら成績が上がるかもしれません。老化防止にもなるかもしれません。
- 毎日の勉強や、夏休みの自由研究、宿題で悩んでいる人、一度のぞいてみて下さい。ここは塾ではありません。寺子屋です。問題を解くためのテクニックではなく、自分で考える力をつけるお手伝いをしたいと思っています。学ぶことってとっても楽しいことですよ。
- 趣味を皆さんで共有しませんか？
音楽、お花、書、ダンス、手芸、絵画、ヨガ、将棋、囲碁、トランプ、麻雀などなど、皆さんいろいろと趣味をもっておられると思います。もし同好の士が見つかったら琉游舎を交流の場として使ってみてください。使用規則など一切ありません。皆さんがお互い気持ちよく使って頂くことが唯一の規則といえば規則です。お酒、食べ物も持ち込み自由。キッチンと冷蔵庫があります。禁煙以外は自由に、予約なしで使っていただけるスペースになっています。
- ここまで書いて、言い忘れたことがあります。「これって営利事業なの？」という疑問があるかもしれませんが、スペースも、飲食も、寺子屋も、図書館もすべてフリー、つまり無料です。皆さんが必要なもので琉游舎に備わっていないものがあれば持ち込んでください。琉游舎は場を提供するアトリエです。その場で琉游舎が皆さんの楽しみ喜びに少しでも預かることができれば、それが琉游舎にとっての最大の報酬です。





● パフォーマンススペースとして使ってみませんか？

天井板がないので広々とした空間で音響効果もよいと思います。間仕切りも極力排しているので備品を倉庫に片付けるとそこそこスペースが確保できます。日頃の練習の成果を確かめるための発表会やミニコンサート、展示会や即売会、などなど、展示場やスタジオとしても利用できるのではないかと考えています。

● 語らいの場としていかがでしょうか？

語らうこと、コミュニケーションをとることは、相互理解、安楽、平穩、豊かな暮らしへの第一歩ではないでしょうか。トランプさんも一方的主張ではなく、双方向のコミュニケーションをとっているいろいろな人と語らえば、もう少し世界は平和な気分になれると思うのですが、、、語らいの場には、飲み物と食べ物がつきものですね。誰が発起人でも、どんな趣旨でもかまいません。食べ物や飲み物を持ち寄って、楽しい語らいの場を作りましょう。

- ところで皆さん、琉游舎は何者がやっているのかと疑問をお持ちかと思っておりますので、自己紹介をさせていただきます。アトリエ琉游舎の舎主は戸井出琉と恭子の夫婦です。2人ともさくら市(旧氏家町)の押上小学校、氏家中学校を卒業。その後出琉は宇都宮高校から東京大学文学部へ、哲学科でプラトンを研究しながら、詩の同人誌「覚醒期」と劇団「酔蜜舎」を主宰。卒業後広告代理店電通でCMの企画制作に従事。営業に転じて後は営業局長として成長する会社、解体される会社、踏み倒す会社。個性的なオーナー会社、など多くの企業の担当をしてきました。在職中に出家得度、昨年9月に電通を退職してコリーナに移住。つい最近35日間の結界修行を終えて、日蓮宗の教師として任命されました。僧侶なので、琉游舎には仏壇があり、毎日5時半から朝勤をしておりますが、不審に思わないでください。昔はどこの家にも仏壇があり、毎朝お線香をあげて自分の祖先を供養したものです。わたくしも毎朝わたくしの母や祖先を供養しております。恭子はシャイで、自己紹介は苦手と申しております。長年小学校の教師を務めており現在も非常勤教員として勤務しています。土日、あるいは平日の夕方に琉游舎にお越し頂き直接本人から自己紹介を受けていただければと思います。今回はイラストで失礼いたします。



舎主：戸井 出琉 戸井 恭子
栃木県矢板市大槻2319-17
コリーナ矢板C-850
連絡先：0287-53-7848